



## 4. クレペリン心理検査解析サポートプログラムの使用

### 4.1. 作業手順

作業には、検査入力、結果分析、ファイル操作の3ページが用意されています。被検査者1名分についての作業は、以下の手順で行います。検査入力ページから結果分析ページへの移動ならびにファイル操作のファイル呼び出し時以外のページの切り替えには、各ページの右側にあるページ名またはその左のオプションボタンをクリックします。選択されているページ名の左のオプションボタンには[●]が表示されています。

1. 通常の場合の手順は、

検査入力 結果分析 ファイル操作

の手順で行います。

2. 既に保存された結果を確認する、またそれを印刷する場合の手順は、

ファイル操作 結果分析 ファイル操作

の手順で行います。

#### 4.1.1. 検査入力ページの作業について

検査入力のデータ入力は常に次に入力すべき項目が確認できるようになっています。

検査入力の作業は、3カテゴリのデータ入力を行います。カテゴリ1から3に順番に入力できるようにになっています。

カテゴリ1: パーソナルデータ入力

カテゴリ2: 検査データ入力

カテゴリ3: エラーデータ入力

クレペリン心理検査解析サポートプログラムが起動された状態では、[グループ]の入力ボックスのみが開いており、その中の文字入力カーソルが点滅しています。

検査入力中に入力したデータを破棄して新しいデータの入力を始めたい場合は、[リセットする]ボタンをクリックします。

#### 4.1.2. 検査入力(カテゴリ1: パーソナルデータ入力)

[グループ]、[氏名]、[性別]、[検査年]、[月]、[日]、[学歴]、[婚歴]、[年齢]を順番に入力します。

一つの項目の入力が完了すると次に入力する項目の入力ボックスが開き、入力ボックスの中のカーソルが点滅します。

[グループ]と[氏名]の項目はキーボードからテキストを入力し、[Enter]キーを押します。項目の入力が完了すると、入力確認音が鳴ります。

それ以外の項目は入力ボックスの右に付けられた[ ]ボタンをクリックし、表示された候補の中から適当な候補をクリックします。候補の数が多い項目は候補の右側のスクロールボタンでスライドさせてそれ以外の候補を表示させ、適当な候補を探してクリックします。



図4-1 パーソナルデータ入力ウィンドウ

[年齢]まで入力完了すると、以下のウィンドウが表示されることがあります。

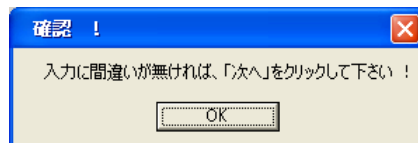


図4-2 パーソナルデータ確認要求ウィンドウ

上記のウィンドウが表示される場合は、[OK]ボタンをクリックもしくはキーボードの[Enter]キーをクリックすると、図 4-2 のウィンドウは消え[次へ]ボタンがクリック出来る状態になります。間違いがある場合は、ウィンドウの右上の[X]ボタンをクリックします。間違いを入力方法で修正します。間違いが無いことを確認して[次へ]ボタンをクリックします。上記のウィンドウは表示されない場合は、各項目の入力を確認して[次へ]をクリックします。

検査入力(カテゴリ 1: パーソナルデータ入力)は完了し、検査入力(カテゴリ 2: 検査データ入力)の状態になります。

#### 4.1.3. 検査入力(カテゴリ 2: 検査データ入力)

検査データ入力の状態に入ると行番号の列の右側に入力した行番号と作業数を表示する 2 つのボックスが現れ、それぞれに[\*\*]が表示されます。その左の作業数を入力すべき行番号(最初は[01])が赤に点滅します。

赤に点滅する行番号の作業数を入力していきます。作業数の入力範囲は 16 から 99 です。作業を行っていない行は 00 と入力します。作業数を入力すると入力した行番号と作業数がそれぞれの数値ボックスに表示され、入力を完了したを行番号の左にその作業数と横の棒グラフが表示されます。次の行番号が赤に点滅します。数値ボックスと棒グラフで確認を行



いながら入力を行います。入力に誤りがある場合は、[ ]カーソルを使って戻って再入力します。後半の作業数入力にはいると前半の作業数入力の修正に戻れなくなりますので、17行目を入力するときは、01 から 17 の行に 00 の箇所が 2 か所となることを確認します。

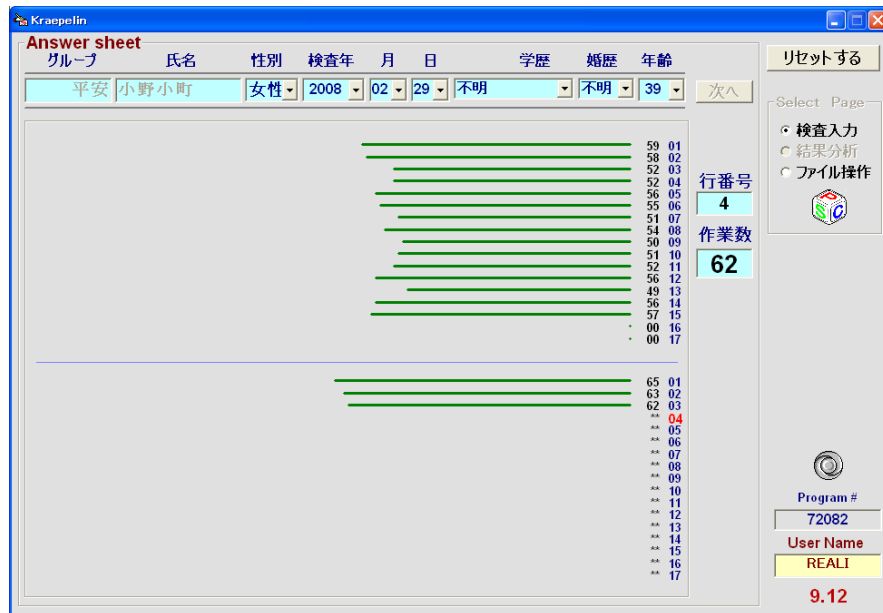


図4-3 検査データ入力中ウィンドウ

前半と後半の作業数データはそれぞれ 15 行分のデータが必要です。データ行の過不足がある場合には次のエラーメッセージが表示されます。



図4-4 入力エラーメッセージ ウィンドウ

[OK]または右上の[X]をクリックもしくはキーボードの[Enter]キーを押すと、01 行の入力状態になります。

データの入力を再度行い、00 の行が 2 行となるようにします。

後半の作業数データの入力が終了すると次の操作説明ウィンドウが表示されます。

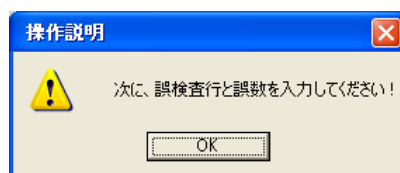


図4-5 操作説明ウィンドウ



[OK]または右上の[X]をクリックもしくはキーボードの[Enter]キーを押すと、操作説明ウィンドウは消えて検査入力(カテゴリ3: エラーデータ入力)の状態になります。

#### 4.1.4. 検査入力(カテゴリ3: エラーデータ入力)

[平均誤数]を表示する数値ボックスと、[計測誤数]と[確認行数]を入力するボタンとバーが付いた数値ボックスが行番号の列の右側に表示されます。

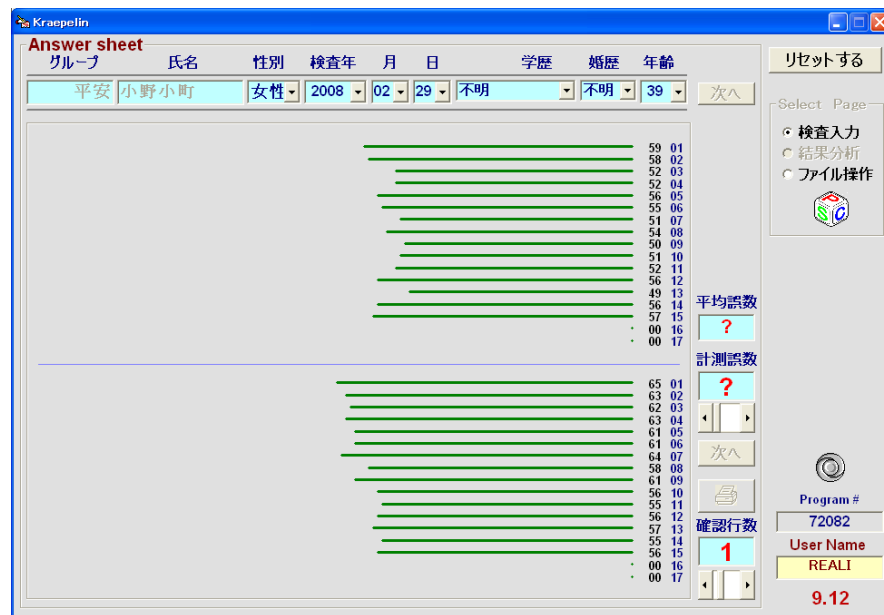


図4-6 エラーデータ入力ウィンドウ

ボタンとバーをクリックして計測誤数と確認行数を入力します。  
表示ならびにボタンとバーについての説明は次のとおりです。

計測誤数： 下記操作にて誤りの数を入力する

初期値： “?”

最大値： 確認行数により異なる

確認行数=1： 50

確認行数=3： 150

確認行数=5： 250

確認行数=30： 1,500

[ ]： インクリメント

[ ]： デクリメント

バー： 現在の値 +10

確認行数： 下記操作にて1、3、5、30のいずれかを選択する

初期値： 1

[ ]： インクリメント (1 3 5 30 1 ...)

[ ]： デクリメント (1 30 5 3 1 ...)



バー :

仕切りの右: インクリメント (1 3 5 30 1 ...)

仕切りの左: デクリメント (1 30 5 3 1 ...)

計測誤数と確認行数の入力を確認して、画面で検査結果を確認する場合は、[次へ]ボタンをクリックします。のような結果分析のページが開き、入力したデータの結果分析が表示されます。

検査結果の印刷も行いたい場合は、プリンタのアイコンボタンをクリックします。通常使用するプリンタと設定されたプリンタにて A4 縦で結果分析の印刷が行われます。

#### 4.1.5. 結果分析ページの表示について

結果分析のページは、[Score]、[Personal DATA]、グラフ、[判定]、[Comments]の部分で構成されています。

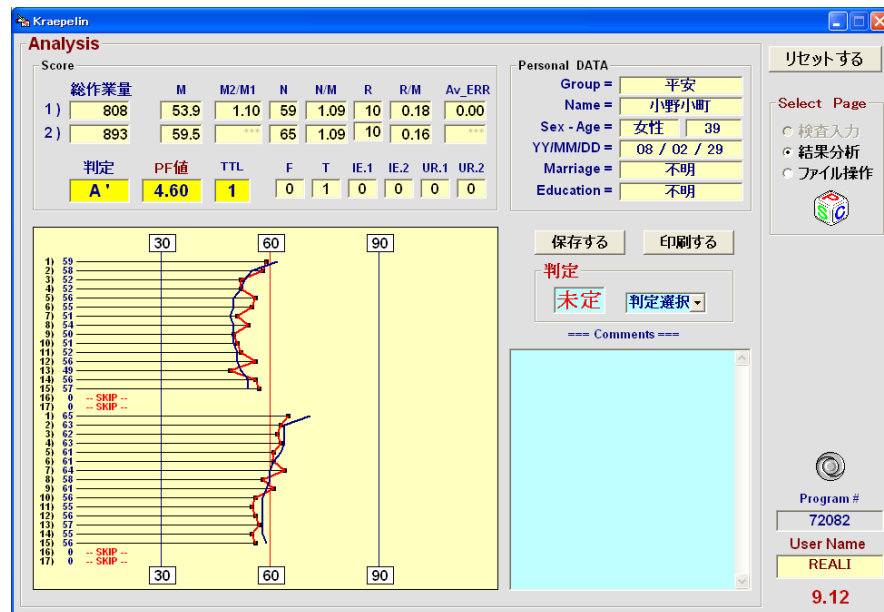


図4-7 結果分析のページウィンドウ

データの確認

[Score]、[Personal DATA]、グラフの表示を確認します。

判定の入力

[判定]の[判定選択]の右の[ ]ボタンをクリックし表示された判定から該当する判定結果をクリックして入力します。

コメントの入力

[Comments]のテキストボックスをクリックします。

テキストカーソルが現れ、コメントを入力できるようになります。



## データの保存

[保存する]ボタンをクリックすると、以下の保存確認メッセージウィンドウが表示されます。

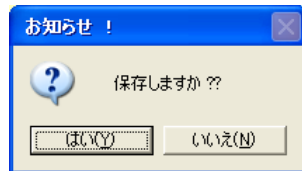


図4-8 保存確認メッセージウィンドウ

保存を行わない場合は、[いいえ]ボタンをクリックします。保存確認メッセージウィンドウは消えます。

保存を行う場合は、[はい]ボタンをクリックまたはキーボードの[Enter]キーを押します。保存が完了すると以下の保存完了メッセージが現れます。



図4-9 保存完了メッセージウィンドウ

[OK]ボタンをクリックします。保存されたファイルに関しては、8章のファイル操作ページならびにファイルの取り扱いについてを参照願います。

## 印刷

[印刷する]ボタンをクリックすると以下のウィンドウが表示されます。

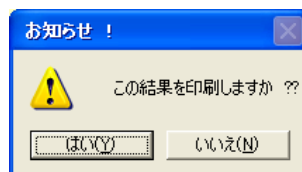


図4-10 印刷確認メッセージウィンドウ

印刷をキャンセルする場合は、[いいえ]をクリックします。印刷確認メッセージウィンドウは消えます。

印刷を行う場合は、[はい]をクリック、またはキーボードの[Enter]キーを押します。通常使用するプリンタと設定されたプリンタにて A4 縦で結果分析の印刷が行われます。

## ファイル操作ページへの移動

ファイル操作ページへの移動は、ページの右側にあるページ名またはその左のオプションボタンをクリックします。